

日々の活動の中で、
地域の皆様の声を国政の
場に届け、仲間と共に、
政策を立案し、課題の
解決に努めてきました



この地道な努力、活動が
認められ、当選二七五日で
文部科学大臣政務官兼
復興担当大臣政務官を
拝命いたしました。



大臣政務官



日本の未来のため、
走り続けた日々。
そんな中でも
この2年弱の日々は、
目まぐるしいものだった…

——2023年秋
9月9日から10日にかけて、
インドでG20が開催されました。

中でも私は
G20文化大臣会合に出席。



現在わが国でも
文化財の保護や
無形文化遺産の
保護推進に継続的に
取り組んでおり――

得意の外交力で、
各国と関係性の
強化を図りました

そして、9月15日

G20も終わり、
政務官としての
任期を終えました。

引き続き地元の声を届け、
日本の課題について
取り組む日々をすごしました。

やれるだけの
ことはやったな

また一期生として、
党の部会などに出席。

自民党の一部派閥による
政治資金の不記載問題が
発覚……

しかしその後、
世間を騒がせた
「あの出来事」が……

党内だけでなく、
政界全体が疑惑と
混乱の渦にいました。

私もできることを
やらなければと、
奔走の日々に。

政治刷新本部が
立ち上がり、
岸田総裁を目の前に、
改革案を提案しました。

いまこそ
改革の時です！

一期の若手としても
自民党改革に提言を
まとめて乗り出すも…

相次ぐ派閥解消の流れ…

今こそが、
自民党が大きく
動く時なんだ

大きなうねりの中で、
衆議院の委員会や
党部会など、

とにかく自分がやるべき
ことに集中して、日々を
過ごしていました。

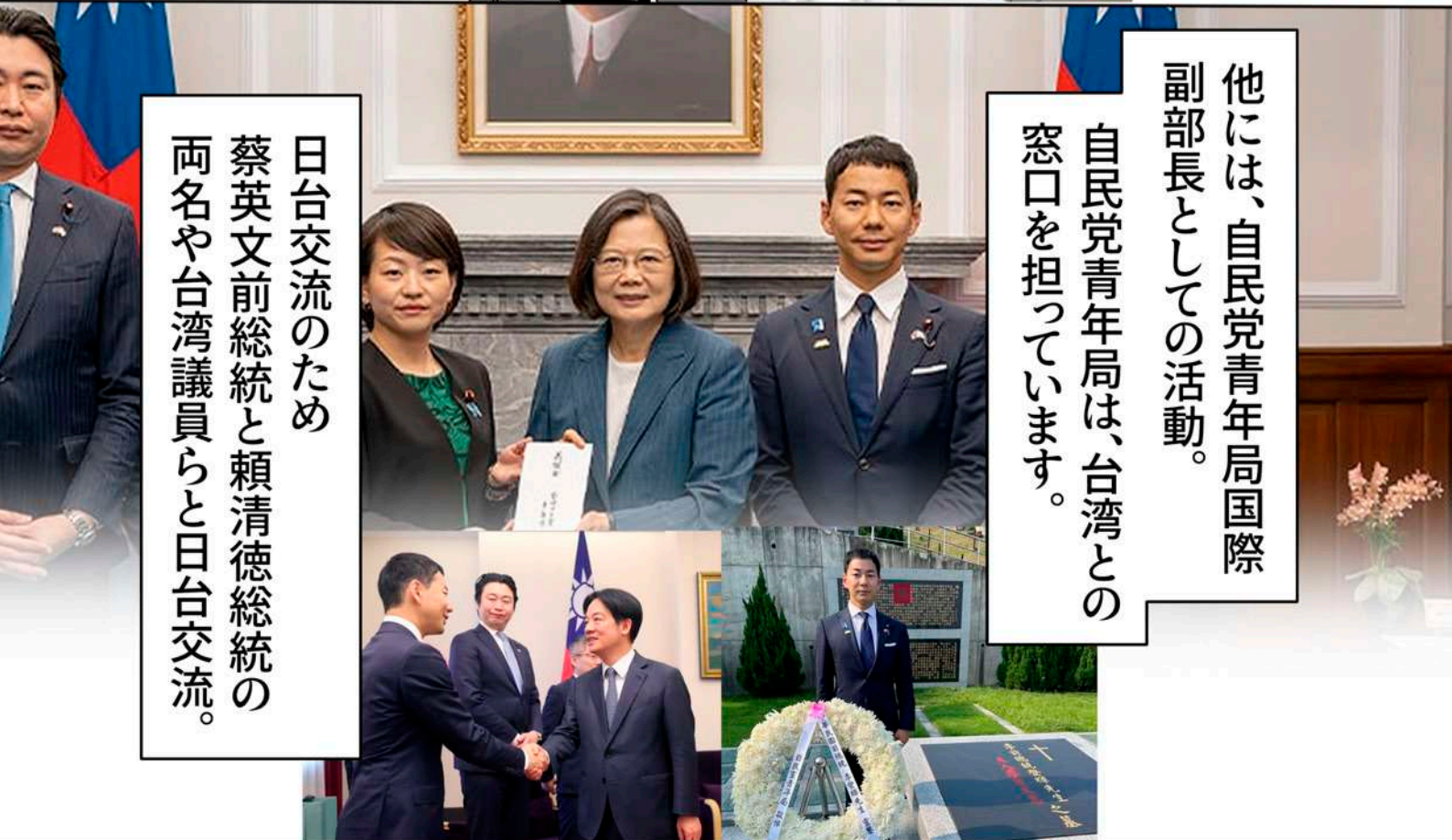


国産バイオ燃料・
合成燃料推進議員
連盟事務局次長
として、式典にも
参加しました



そのような中で、水素と
二酸化炭素から合成燃料を
一貫製造できる日本初の
合成燃料製造プラントが完成！

新たなエネルギー政策の
実現に大きな第一歩を
踏み出しました。



日台交流のため
蔡英文前総統と賴清徳総統の
両名や台湾議員らと日台交流。

他には、自民党青年局国際
副部長としての活動。
自民党青年局は、台湾との
窓口を担っています。



特にコロナ禍で深刻になった
問題に向き合い、意見交換が
行われました。

そこでは地域や職場、
家庭の人間関係の希薄化：



さらに、
孤立孤独対策特命委員会で
提言を取りまとめ。



他にも、サイバーセキュリティ
プロジェクトチームでの
提言取りまとめに参加。

2025年の法制化にも
繋げることができました





もちろん、委員会質問も
日々積極的に続けて
いました。

目の前のことに
ひたむきに、
取り組み続け—
訪れた、8月14日



岸田総裁の総裁選不出馬が
発表されました。
突然の出来事で、総裁選の
流れは大きく変わることに…

田政権3
裏金事件
2020-01-17
連立の下では...
首相は...
2代を...



総裁候補は
9名と、過去最多。
報道でも混戦だと言われ、
党内にもいつにも増して
緊張感が走っていました。

そして10月
石破茂氏が内閣総理大臣に。
現在の、いわゆる石破内閣が
誕生したのです。



その後石破総理は、
衆議院を解散し、総選挙に。
私も、小選挙区での出馬を
目指すも叶わず、
比例区での出馬に。

10月27日
衆議院選の投開票日……



結果は落選

けれど、そこで
歩みを止めるわけには
いきません。

私が政治家として
やり遂げたいことは
まだまだあります。

ザッ／...



そんな中での
「落選―負け―」に、
自分自身が納得
できていないんです。

それに、今まで
応援してくれていた
有権者の方々のためにも、

もう一度国政の場で、
戦い抜きたい…!!

落選した翌日から、
私は豊橋駅に立ち、
挨拶を始めました。



毎日、駅や街頭に立って
挨拶をしたり、
皆様のもとへ訪問したり、

ミニ集会や茶話会を
実施したりと、日々奔走中！





地域に密着し、
地元の皆さんの声を聞き、
今も「自分にできること」を
ひたむきに続けています。





「左近ニュース」
というのも
書いているんですよ

「これから生まれてくる
子どもたちが、日本に
生まれてよかったと思える
国づくり」その夢は、
まだまだ道半ばです。



自分が志したもの――

決して諦めず、
次の挑戦に向けて
「不屈の三河武士」の精神で
日々戦い続けていきます!!

